

社会科学学習指導案

平成28年6月10日(金)

I 単元 あたたかい土地の暮らし — 沖縄県 —

II 考察

1 教材観

(1) 学習内容：学習指導要領上の位置付け

(1) 我が国の国土の自然などの様子について、次のことを地図や地球儀、資料などを活用して調べ、国土の環境が人々の生活や産業と密接な関連をもっていることを考えるようにする。

イ 国土の地形や気候の概要、自然条件から見て特色ある地域の人々の生活

(2) 培われる主な資質・能力

- ・我が国の国土の地形や気候等の自然条件から見て特色ある地域の人々の生活や産業に関心を持ち、それらを意欲的に調べ、国土の環境の保全に関心を深め、国土に対する愛情をもとうとする態度
- ・我が国の国土の地形や気候等の自然条件から見て特色ある地域の人々の生活や産業について問題を見出して追究し、人々の工夫について思考・判断したことを、適切に表現する力
- ・我が国の国土の地形や気候等の自然条件から見て特色ある地域の人々の生活や産業に関する事象を的確に調査したり、地図や統計などの基礎的資料を活用したりして、必要な情報を集めて読み取りたりまとめたりする力
- ・我が国の国土の地形や気候等の自然環境と、特色ある地域の人々の生活や産業との関連への理解

(3) 本単元の学習とその価値

本小単元は、1年を通じて暖かく台風が多い気候である沖縄県を取り上げ、自然環境と人々の生活や産業との関わりについて考える学習である。その価値は以下のとおりである。

沖縄県は冬でも20度近い平均気温を保つ暖かな土地であると同時に、水不足や多くの台風被害に直面する土地である。沖縄県の人々はこのような自然条件に適応し、台風に強い家づくりやサトウキビ栽培など、自然環境に適した生活や産業を伝統的に営んできた。近年では、花きや野菜、果物等の促成栽培や、独自の文化や豊かな自然を資源とした観光開発にも力を入れ、冬でも暖かい気候を生かすとともに、水不足や台風による被害を最小に抑える様々な工夫が見られる。これらについて調べることは、沖縄県の自然環境が人々の生活や産業と密接に関連していることへの理解につながる。

中でも観光業は、沖縄県の主たる産業として本土復帰後急速に成長し、さらなる観光開発が期待されている。その一方で、サンゴ礁の白化や希少な動植物の絶滅等、環境破壊への懸念から開発の中止を求める声がある。これらの相反する2つの事象を基に、沖縄県の人々の目線に立って観光客を増やすことの是非を考えることは、暖かい気候に育まれた豊かな自然を観光業に生かしていることへの理解を深めるとともに、自然との共生を図る持続可能な開発の大切さを考えようとする態度を培うことにつながる。

(4) 今後の学習

ここでの学習は、5年「わたしたちの生活と食料生産」で、我が国の農業や水産業について、それらが国民の食料を確保する重要な役割を果たしていることや自然環境と深い関わりをもって営まれていることを考える学習へと発展していく。

2 児童の実態及び指導方針

子どもたちは、5年「低い土地の暮らしー海津市ー」で、水害から生活を守るしくみや平らな土地を生かした産業について調べ、低い土地に暮らす海津市の人々の工夫を考える学習に取り組んできた。この学習の中で、明らかになった子どもたちの実態及び本単元を進めるにあたっての指導方針は、次のとおりである。

- ・海津市の人々の生活や産業について疑問点や調べたいことをもち、水害から生活を守るしくみや平らな土地を生かした米作り、観光業を意欲的に調べてきた。このような子どもたちが、沖縄県の人々の生活や産業について疑問点や調べたいことをもち、台風や水不足から生活を守るしくみや、冬でも暖かい気候を生かした農業や観光業を意欲的に調べることができるよう、台風被害の様子についての既存の知識とのずれを感じられる映像や、年間の台風上陸数を示したグラフ、節水を呼びかけるポスターなどの資料を提示する。
- ・国土の環境が人々の生活や産業と密接な関連をもっていることについて、海津市の地形条件と人々の生活や産業の工夫とを相互に関連付けて考えることができている。このような子どもたちが、沖縄県の自然条件と人々の生活や産業の工夫とを相互に関連付けて考えることができるように、それぞれの工夫と共通課題とのつながりを整理するコンセプトマップの枠組みを提示する。
- ・海津市の人々の水害から生活を守るしくみや平らな土地を生かした米作りや観光業などについて、地図や統計などの資料から必要な情報を読み取ったり、まとめたりすることができるようになってきている。このような子どもたちが、沖縄県の人々の台風や水不足から生活を守るしくみや、冬でも暖かい気候を生かした農業や観光業について、地図や統計などの資料を自ら収集し、必要な情報を読み取ったり、まとめたりすることができるように、家のつくりやサトウキビ・キクの栽培、世界遺産やリゾート開発に関する資料コーナーを設置し、各種資料の活用の仕方を提示する。
- ・海津市に住む人々が水害から生活を守るしくみを確立していること、平らな土地を生かした米作りや観光業を行ってきたことを理解している。このような子どもたちが、沖縄県の人々が自然環境に適応しながら生活や産業を組織的に工夫していることや、環境保全と観光開発とのバランスを考える大切さを理解できるように、自然環境と人々の生活や産業との関わりや、観光客を増やすことの是非について、小集団で課題に対する自分の考えの根拠や解釈を相互補完する場を設定する。

Ⅲ 目標及び評価規準

Ⅳ 指導計画 ※Ⅲ・Ⅳについては、指導と評価の計画参照

Ⅴ 本時の学習

- 1 ねらい 沖縄県の観光客を増やすことの是非について自分の立場とその理由を小集団や学級全体で話し合うことを通して、環境保全と観光開発とのバランスを考えることの大切さを理解する。
- 2 準備 自分の立場と理由をまとめた図 ネームマグネット 沖縄県の環境問題や生活向上に関する資料
- 3 展開

学習活動と子どもの意識	指導上の留意点（☆は研究上の手立て）
<p>1 本時のめあてをつかむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今日は沖縄の観光客を増やすことについて自分の立場と理由を伝え合って考えをまとめていくぞ。友達はどう考えているのかな。 <p>2 沖縄県の観光客を増やすことの是非について話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ぼくは、今後も観光客を増やしていくべきだと思う。観光客が大きく増えた90年代から、沖縄の人々の収入も増えているからね。 ・確かに、観光客が増えることによって、道路や観光施設の開発が進むから、ヤンバルクイナなどの絶滅危惧種への影響はあるな。 ・でも、農業中心では台風の影響は避けられないし、商売やサービスを仕事にしている人の割合が高い沖縄では観光業は欠かせないよ。 ・なるほど、観光客の人々は沖縄の自然を楽しみに来ている人が多いから、このまま開発が進んで環境破壊が進んでしまったら、逆に、観光客が減ってしまうかもしれないぞ。 <p>3 沖縄県の観光客を増やすことの是非に対する自分の考えをまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・このまま観光開発が進んで環境破壊が進むことも、観光客が減って観光業がうまくいなくなることも、沖縄の人にとっては悲しいことだな。 ・ぼくは、観光業に携わる人もそうでない人も沖縄県の人々がこれからも幸せに暮らすためには、片方の立場のことだけではなくバランスを考えることが大切だと思うよ。 ・暖かい気候に恵まれた沖縄県の自然を大切にしながらその土地にあった産業を工夫することが、豊かな暮らしにつながるのだな。 <p>4 本時のまとめをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・沖縄県以外の地域でも同じことが言えるよ。 ・友達の考えやいろいろな理由を参考にして、沖縄県の観光と環境について考えられたな。 	<ul style="list-style-type: none"> ○沖縄県の観光客を増やすことに対する各自の立場とその理由を話し合って決定するという本時の学習の見通しをもてるように、新たな共通課題と本時の活動について問いかける。 ☆自分では気付かなかったそれぞれの立場の理由を友達から得ることができるように、立場の異なる子ども同士の小集団で各自の立場とその理由を相互補完する場を設定し、自分の立場と理由をまとめた図を友達に示しながら伝え合うよう促す。 ○友達の理由を踏まえて観光客を増やすことの是非に対する自分の立場を見直すことができるように、学級全体で話し合う場を設定し、ネームマグネットと沖縄県の環境問題や生活向上に関する資料を用いて各自の立場やその理由を伝え合うよう促す。 ○観光客を増やすことの是非の理由を整理して捉えられるように、短冊にまとめて黒板に掲示する。 ○環境保全と観光開発とのバランスを考えることの大切さに気付けるように、沖縄県民全体の幸せのために必要なことを問いかける。 ○沖縄県の観光客を増やすことの是非に対する自分の立場とその理由、今後の観光開発のあり方について記述できるように、話し合いを基にした自分の考えを記述するよう促す。 <div data-bbox="823 1563 1401 1809" style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">評価項目</p> <p style="text-align: center;">環境保全と観光開発とのバランスを考えることの大切さの面から自分なりの考えを記述したり、発言したりしている。</p> <p style="text-align: center;">＜学習プリント・発言（４）＞</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ○多面的に判断して沖縄県の観光客を増やすことの是非を考えられたことを自覚できるように、異なる立場の友達の理由を基に自分の考えを深めることができたことを賞賛する。

指導と評価の計画（全9時間）

目標	暖かい沖縄県に住む人々の生活や産業と自然環境との関わりについて考え、人々が自然環境に適応しながら工夫して生活していることや、豊かな自然環境を維持しつつ開発していくことの大切さを理解する。			
評価規準	(1) 沖縄県の人々の生活や産業の様子に関心をもち、意欲的に調べようとしている。 (2) 沖縄県の気候と人々の生活や産業について、課題を見出して追究し、自然条件が人々の生活や産業と密接に関わっていることを考え、適切に表現している。 (3) 沖縄県の気候や生活や産業に関わる資料を活用し、必要な情報を読み取ったり、まとめたりしている。 (4) 沖縄県の人々が自然環境に適応しながら生活や産業を組織的に工夫していることや、環境保全と観光開発とのバランスを考えることの大切さを理解する。			
過程	時間	学習活動	指導上の留意点（☆は研究上の手立て）	評価項目＜評価方法（観点）＞
課題をつかむ	1	○沖縄県の人々の生活や産業についての疑問点や調べたいことをもち、課題意識をもつ。 共通課題 沖縄県の人々は、あたたかく、台風が多い土地でどのようにして生活しているのだろう。	☆沖縄県の人々の生活や産業について疑問点や調べたいことをもてるように、沖縄県の台風被害の様子についての既知の知識とのずれを感じられる映像や、年間の台風上陸数を示したグラフ、節水を呼びかけるポスターなどの資料を提示する。	◇沖縄県に住む人々の生活の様子や産業の様子について疑問点や調べたいことを記述したり、発言したりしている。 <ノート・発言（1）>
	1	○沖縄県の人々の生活や産業の様子が分かる写真資料などから課題について予想し、学習計画を立てる。 <調べる観点>・家のづくり・産業	○家の作りや産業に着目して共通課題に対して予想できるように、沖縄県の家やサトウキビ・電照ギク栽培の様子の写真、冬のマリンスポーツの写真などの資料を提示する。	◇沖縄県の人々の生活や産業の工夫について予想を記述したり、発言したりしている。 <ノート・発言（2）>
追究する	2	○資料集や地図帳、図書資料やインターネットなどを使い、沖縄県の人々の生活や産業の工夫を調べる。	○沖縄県の人々の生活や産業の工夫について、地図や統計などの資料を自ら収集し、必要な情報を読み取ったり、まとめたりすることができるように、沖縄県の家づくりやサトウキビ・キクの栽培、世界遺産やリゾート開発に関する資料コーナーを設置し、各種資料の活用の仕方を提示する。	◇資料を活用して、暖かい気候を生かしたりや台風や水不足に備えたりした生活や産業の工夫を記述している。 <ノート（3）>
	1	○観点に沿って調べたことを基に、共通課題に対する自らの考えをもつ。	○沖縄県の自然条件と人々の生活や産業の工夫とを相互に関連付けて考えることができるように、それぞれの工夫と共通課題とのつながりを整理するコンセプトマップの枠組みを提示する。	◇沖縄県の自然条件と人々の生活や産業の工夫とを相互に関連付け、それぞれのつながりを記述したり、発言したりしている。 <ノート・発言（2）>
	1	○沖縄県の人々の生活や産業の工夫を話し合う。	☆沖縄県の人々が自然環境に適応しながら生活や産業を組織的に工夫していることを理解できるように、自然環境と人々の生活や産業との関わりについて、小集団で課題に対する自分の考えの根拠や解釈を相互補完する場を設定する。	◇温かい気候を生かしたり台風や水不足に備えたりするために、沖縄県の人々が生活や産業を組織的に工夫していること記述したり、発言したりしている。 <ノート・発言（4）>
	1	○観光開発による環境破壊や県民所得に関する資料などから、新たな課題をつかみ、資料を基に自分の立場とその理由を考える。 新たな共通課題 沖縄県の観光客を本当に増やすべきか。	○沖縄県の観光客を増やすことの是非について、自分の立場とその理由を考えることができるように、自分の立場と理由をまとめる図を用意し、「観光客を増やすことのよさ」と「増やさないことのよさ」の視点を提示する。	◇資料を基に、観光客を増やすことの是非について、自分の立場とその理由を記述している。 <学習プリント（2）>
	1 + 家庭	○環境破壊の実際や観光開発の恩恵について調べる。	○環境破壊の実際や観光開発の恩恵について、写真や統計などの資料から必要な情報を読み取ったり、自分の立場の理由としてまとめたりすることができるように、沖縄県の環境問題や生活向上に関する資料コーナーを設置し、各種資料の活用の仕方を提示する。	◇資料を活用して、沖縄県の環境破壊の実際や観光開発の恩恵を自分の立場の理由に記述している。 <学習プリント（3）>
まとめる	1	○沖縄県の観光客を増やすことに対する自分の立場を考えながら話し合う。（本時）	☆沖縄県の観光業について、環境保全と観光開発とのバランスを考えることの大切さを理解できるように、小集団で沖縄県の観光客を増やすことの是非に対する自分の立場の根拠や解釈を相互補完する場を設定する。	◇環境保全と観光開発とのバランスを考えることの大切さの面から自分なりの考えを記述したり、発言したりしている。 <学習プリント・発言（4）>